

# 知っていますか？ ファストファッション この言葉

流行をいち早く取り入れつつ低価格の衣料品などを大量に生産し販売するブランドやその形態を言います。大量生産大量消費は「ファストフード」になぞらえてファストファッションと呼ばれています。これらのメーカーは2週間単位で商品を入れ替えると言われています。

安くおしゃれなので、ファッション誌などでもファストファッションを上手に取り入れるコーディネート特集なども人気です。

消費者も流行を追って新しいものを買って、流行ではないものを捨てるのに抵抗がなくなります。家庭から出される衣料品のごみは年々増加しています。エコと言い難い状況です。

一方これらの製品は貧しいアジアの国々の女性たちによって生産されています。低価格を実現するために労働者が酷使されています。これらの国々では法規制が弱いために、人々は悪条件でも働かざるを得ず、低賃金で重労働を強いられています。その日暮らしの生活を送れるだけの最低賃金なのです。病欠すると高額な罰金を取られたりするので有毒なガスを吸ったり、埃にまみれながら体にムチを打ち働くのです。トラックの荷台にたくさんの女性が詰め込まれ働きに行くところもあります。

生産工場も劣悪な環境のことが多いので、工場自体が崩壊して何千人もの死者を出すことも少なくないようです。このような場所では国の工場の排出規制も甘く、生産現場近くの川や海などもひどく汚染されて、人々の生活が犠牲になっているのです。

マスコミや市民団体が取り上げ、少しは改善されているようです。私たちが安さの蔭にこのような事実があることの認識を持つことが大切でしょう。

## イクメン疲れ 職場編



## コラム



新年の楽しみなことのついでに、百貨店の初売りがあります。一月二日が相場と決まっているようですが、今年から三越伊勢丹ホールディングスは、伊勢丹新宿本店・三越銀座店など首都圏十一か所のうち八店舗を二日まで休業としました。わずか一日ですが、休日が増えたのです。

思い返してみれば、昔ほどの店も開いていなくて静かな正月でした。いつの頃からか閉店時間が遅くなり、スーパーなども定休日がなくなっていました。

コンビニの躍進という時代背景は仕方ないにしても、拘束時間が長くなった販売職は雇用マーケットで敬遠されるようになりました。

たとえ販売職でも、正月くらいはゆつくりと休みたいのが人間の本能でしょう。また、休んだ結果として心の余裕ができ、より質の高い販売サービスが提供できるようになるかもしれません。

会社の売上増よりも、社員の労働環境を重視した三越伊勢丹ホールディングスの決断によって、百貨店のみならず販売業全体の未来につながってほしいものです。